

歌合の本質と展開

中世・近世から近代へ

龍谷大学仏教文化研究叢書 48

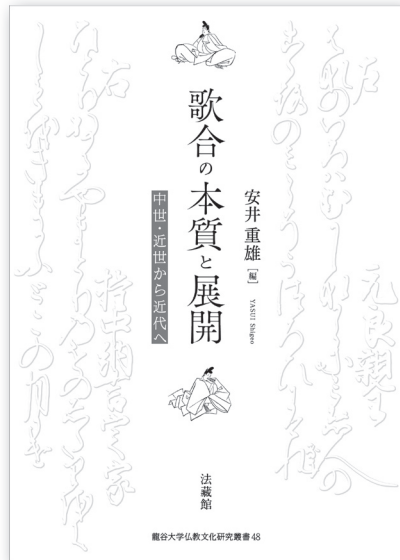
安井重雄「編」(龍谷大学教授)

A5判・上製・三五二頁・本体五、五〇〇円＋税

歌合とは何か？

判者と判詞、陳状、社頭歌合、集積と出版、近世の歌合、異類歌合、宮廷歌合の終焉、歌合の近代、古筆切。11名による諸論を通じて中世初期から近代にかけて展開した歌合の本質を明らかにする。

2024年3月刊行



まえがき

第I部 中世初期における歌合の相貌

藤原基俊の判詞執筆意識

——保安二年関白内大臣家歌合の二つの判詞から——

『和歌一字抄』の歌合歌

治承二年廿二番歌合の性格

六百番歌合と顕昭——『顕昭陳状』を中心に——

後鳥羽院歌壇における歌合判者と判詞執筆者

——俊成没後から順徳天皇歌壇成立まで——

承久元年内裏百番歌合小考

〔溝端悠朗〕

〔藏中さやか〕

〔中村 文〕

〔鈴木徳男〕

〔安井重雄〕

〔日比野浩信〕

目次

第II部 近世における歌合の展開、そして近代へ

近世歌合の諸問題

宮廷歌合の終焉——寛永十六年仙洞歌合の実態——

『四生の歌合』の立場

目録に記されなかった蘆庵本歌合

(付) 国文学研究資料館蔵『京極御息所歌合・陽成院一親王姫君達歌合』翻刻

近代における歌合の消長——書籍としての『歌合』受容——

〔野田直恵〕

〔加藤弓枝〕

〔大山和哉〕

〔大谷俊太〕

〔神作研一〕

あとがき
執筆者一覧

【編者略歴】

1961年生まれ。京都府出身。龍谷大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。現在、龍谷大学文学部教授。専門は、日本文学・和歌文学。主著『藤原俊成——判詞と歌語の研究』(笠間書院、2006年)、『蘆庵本歌合集』(編著、龍谷大学善本叢書 35、思文閣出版、2021年)。

注文書

(書店名)

ご担当

様冊

法藏館

安井重雄 編

五、五〇〇円＋税

歌合の本質と展開

中世・近世から近代へ

ISBN978-4-8318-7776-5 C3092

ご住所

お電話

お名前

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本文学・和歌